

病院が担う役割について

平成 年 月 病院

1 現状と課題

【自施設の現状と課題】

< 記入要領 >

- 自施設の現状や地域において担っている役割、課題を2025プラン又は改革プランに記載がある場合は転記、記載がない場合又はプランがない場合は新たに記入してください。

記載例として

- 自施設の理念、基本方針等
- 自施設の診療実績（届出入院基本料、平均在院日数等）
- 自施設の職員数（医師、看護職員、その他専門職、事務職員等）
- 自施設の特徴（4機能のうち が中心 等）
- 自施設の担う政策医療（5疾病・5事業及び在宅医療に関する事項）
- 他機関との連携（周産期医療については他の医療機関との連携を前提に対応等）

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

< 記入要領 >

- 前記の「1 現状と課題」の内容に沿って今後の方針 を、既にプランに記載がある場合は転記、記載がない場合又はプランがない場合は新たに記入してください。

職員については、特に医療従事者の確保の見通し、地域において担っている役割については、その役割を継続、拡充、縮小又は廃止するかの方針を記入してください。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【 4 機能ごとの病床のあり方 その1 】

単位：床

病床機能	2017年(平成29年)	2023年(平成35年)	2025年(平成37年)
高度急性期			
急性期			
回復期	<p>< 記入要領 > □ 平成29年度病床機能報告の報告内容を転記してください。</p>		
慢性期			
その他			
合 計			

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【 4 機能ごとの病床のあり方 その2 】

< 記入要領 >

- 2017年(基準日)と2023年(6年後:基準日後)の病床機能が異なる場合(転換しようとする場合)は、その理由を記入してください。理由には、(ア)転換の必要性や背景、(イ)転換前の現在担っている病床機能を転換後にどのように充足させる考えかを含めてください。
平成29年度病床機能報告から、基準日と基準日後の病床機能が異なる場合は、その理由を記入するようになりました。
- 2025年の病床機能が2017年や2023年と異なる場合は、その理由を記入してください(任意)。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【 診療科の見直し 】

	現時点 (年 月時点)	2025年	理由・方策
維持			
新設			
廃止			
変更・統合			

< 記入要領 >

- 必要事項として
 - ・ 診療科の新設、廃止、変更・統合等の理由
 - ・ (新設等の場合) 具体的な人員確保の方策
 - ・ (廃止等の場合) 廃止される機能を補う方策
- 公的医療機関等は、2025プランから転記してください。
- 公立病院及び民間医療機関は、選択した2025年の病床機能をベースに、可能な範囲で記入してください(任意)。

3 具体的な計画

(2) 数値目標

	現時点(年 月時点)	2025年
病床稼働率	<p>< 記入要領 ></p> <ul style="list-style-type: none"> □ 公的医療機関等は、病床稼働率、紹介率、逆紹介率を2025プランから転記してください。 □ 公立病院及び民間医療機関は、次の算定式により上記の数値を算出し、記入してください。 紹介率、逆紹介率は当該データがあれば記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 病床稼働率(%) = (病床機能報告における) 在棟患者延べ数 / (許可病床数 × 365) × 100 ➤ 紹介率(%) = 紹介患者の数 / 初診患者の数 × 100 ➤ 逆紹介率(%) = 逆紹介患者の数 / 初診患者の数 × 100 	
紹介率		
逆紹介率		

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

【取組みと課題】

< 記入要領 >

- 前記の「(2)数値目標」の達成に向けて実施中又は実施予定の取組みや、予想される課題を記入してください。

